

レポート トピックス

議員として、議会内外で「議会活動」と「地域活動」を行ったことにより実現・解決した市民要望や市政課題、あるいは市内外の組織・団体への役員就任など、様々な話題(トピックス)があります。ここではその内容についてお知らせします。

課題、要望の解決・実現

○道路整備

利用者の利便性向上のため、国条橋パークゴルフ場への接続道路を舗装整備



○街灯整備

長江公園内の損壊した照明を再整備



○環境改善

利用者の利便性向上のため、国条橋パークゴルフ場駐車場への砂利敷設並びに仮設テントの常設化(春～秋季期間)



○街灯整備(3か所)

本郷地内の民間照明の撤去を受け、防犯対策等のため市の街灯を整備



○街灯整備

横田宮の腰地内の民間照明の撤去を受け、防犯対策等のため市の街灯を整備



○白線の再敷設

交通安全確保のため、長慶寺地内の白線を再敷設



○カーブミラー設置

交通安全確保のため、長慶寺地内にカーブミラーを新設



○防砂ネット整備

農業環境保全のため、高岡西部中学校に防砂ネットを新設



○カーブミラー設置

交通安全確保のため、波岡地内にカーブミラーを再設置



○側溝整備

交通安全確保等のため、内免地内の側溝を整備



役員就任

○美幸町自治会相談役

本年4月の役員会にて相談役に就任。

○高岡市スポーツ推進委員

本年4月の総会にて委員に就任。

○西条校下体育振興会役員

本年4月の総会にて役員に就任。

○俳優 古村勇人富山後援会事務局長

本年8月、事務局長に就任。

○映画「デンサン」実行委員会副会長

本年9月、副会長に就任。

横田せいじ プロフィール

自己紹介

- 生年月日 昭和55年5月13日(36歳)
高岡市内免生まれ、美幸町在住
- 趣味特技 野球、空手、登山、スキー・スノーボード、読書

経歴

- 川原小学校、高岡西部中学校、高岡第一高等学校、富山県立大学工学部卒業
- 平成15年 高岡市役所入庁
『都市計画課(地域交通担当)』で、万葉線やコミュニティバスなどの公共交通政策に、『総務課(危機管理室)』で、防災や国民保護などの危機管理政策及び選挙業務に、『財政課(資金、財政・調査担当)』で、予算編成や起債、決算分析などの財政政策に携わる
- 平成24年 高岡市役所退職
- 平成25年 高岡市議会議員(初当選)

市議会等での役職

- 総務文教常任委員会 委員長
- 新幹線・公共交通対策特別委員会 委員
- 荻布奨学金支給審査委員会 委員
- 議会会派「自民同志会」政調会 幹事

現役職資格等

- 富山県飲食業生活衛生同業組合 高岡支部顧問
- 高岡調理師会顧問
- 高岡市スキー連盟副会長
- 高岡市相撲連盟副会長
- 高岡市消防団和田分団員
- 高岡商工会議所青年部員
- (公社)高岡青年会議所 地域づくり室長
- 高岡カラオケクラブ会員
- 南西リーグスポーツ少年団 野球大会副会長
- 西条スポーツ少年団育成会副会長
- 西条スポーツ少年団育成会野球部顧問
- 西条校区青少年補導委員会顧問
- 国条橋運動広場管理協会事務局員
- 国条橋パークゴルフクラブ顧問
- 美幸町高齢者見守り隊事務局局長兼会計
- 内免神明町獅子舞保存会員
- 高岡第一高等学校第38回生同窓会長
- 高岡西部中学校同窓会副会長
- 国際空手道連盟極真会館初段、審判資格
- 財日本体育協会公認スポーツリーダー・スポーツ少年団認定員
- 自由民主党富山県支部連合会青年部長
- 自由民主党高岡市連合支部青年局幹事長

発行 高岡市議会自民同志会

編集 高岡市議会議員 **横田せいじ** 〒933-0954 高岡市美幸町1-2-55
TEL (0766) 25-4017 FAX (0766) 25-4007
E-mail office@yokotaseiji.net HP http://www.yokotaseiji.net/
FB http://www.facebook.com/yokotaseijikouenkai/

横田せいじ

検索

[高岡市議会議員]

横田の政治りぽーと

せいじ SEIJI's REPORT

2017年新春
第6号

Challenge your future!



高岡市議会「総務文教常任委員長」に就任させて頂きました！
引き続き、「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」に向け活動していきます。

(写真左) 首相官邸で野上浩太郎内閣官房副長官と (写真右) 復興庁で橋本一郎復興副大臣と (いずれも議会会派「自民同志会」東京視察研修にて/平成28年8月26日)

ごあいさつ

明けましておめでとうございます。
後援会並びに地域の皆様におかれましては、すこやかに新春をお迎えのことと存じます。2017年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。
おかげさまで私の市議会議員としての任期も最終4年目に入り、先の高岡市議会平成28年12月定例会で「総務文教常任委員長」に就任させて頂きましたが、本年はこれまで培った経験や頂いた人とのご縁を大切に、一層飛躍する年にしたいと思います。
それこそこれまでの3年間、1日1日を無駄にすることなく「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」に向け活動しながら、その原動力となる体づくりにも努めてきましたが、そうした中で、昨年秋の「富山マラソン2016」に地元の仲間の皆さんと共に参加をさせていただきました。
これは一昨年に続いての参加でしたが、やはり県内外から1万人を超える人々が一堂に会する様子は圧巻であり、大会開催によってスポーツ振興や参加者の健康増進はもとより、まちの魅力発信や地域経済の活性化にも寄与するものであり、県や高岡市等が予算をかけて行いうに値する事業だと改めて感じた次第です。

当然ながら、自治体運営というのはスポーツのみならず、教育や福祉、都市整備など多岐に渡り、地方自治法には「最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない」との定めもありますが、限られた財源の中で予算の編成及び執行に当たらねばなりません。私は、市職員時代の財政課での職務経験を通じ、財政の健全化に努めながら、いかに効率的で効果的な自治体運営が出来るかを考え、これまで議会の場で様々な質問を行ってきました。
こうした考えに立った時、昨年、本市を含む県内自治体で連日報道があった、議員による政務活動費の不正使用は言語道断であり、さらに言えば、政務活動費の原資は税金から成り立つ市民の皆様のお金ですので、不適切と思われる使用もあってはならないことでもあります。私としてはこれまでも、そしてこれからも市民の負託にこたえ、信頼される政治の実現に向け活動していきますので、引き続きのご支援を賜りながら、日々の活動で生じた課題や要望をお気軽にお寄せ頂き、またご指導賜りますようお願い申し上げます。
結びに、本年も皆様のご健康でご多幸であることを心からご祈念申し上げます。第6号発刊にあたってのご挨拶とします。

横田誠二

レポート 議会活動

高岡市議会は年4回定例会を開催しており、全議員には提出された議案や市政一般に対して質問できる権利が与えられています。この権利をしっかりと使い、各定例会で質問に立ちました。ここではその内容についてお知らせします。(詳細は横田せいじ公式HPに掲載)

平成28年6月定例会

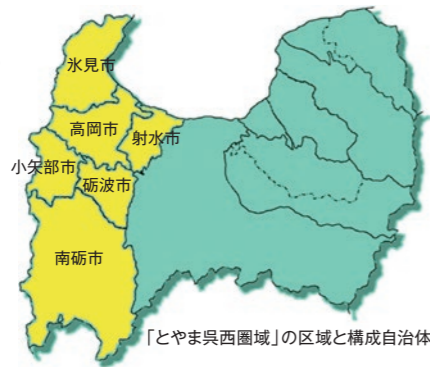
【(仮称)「とやま呉西圏域」都市圏ビジョンについて】

Q 総務省が示した連携中枢都市圏構想の推進に向けた財政措置には、ICTの効果的活用などの取組を進めるため、特別交付税措置などがあるとされている。また、国の「経済財政運営と改革の基本方針2015」などに記載があるが、昨年6月に自治体クラウドに関する閣議決定がなされている。

この自治体クラウドは、総務省によれば3割程度のコスト削減を始め、業務負担の軽減や、災害に強い基盤構築などに繋がるとされており、市区町村1,742団体の平成26年4月1日現在と次期更新時のシステム形態との比較では、複数団体共同によるものから単独団体でのクラウド化を含めれば、約60%の団体がクラウド化に取り組む見込みとなっている。

そこで、行政の効率化や経費節減等の観点から、自治体クラウドの取組を進めては。

A 共同利用型自治体クラウドの導入に向け検討を行ってきたところであり、まずは本年4月よりマイナンバーカードを利用した住民票等のコンビニ交付について、本市、氷見市、射水市、南砺市でシステムの共同利用を開始するなどした。今後とも、どのような枠組みで行うのが最も適切なのかも含め、共同利用型自治体クラウドの導入について、引き続き検討していきたい。



「とやま呉西圏域」の区域と構成自治体

Q 現在、射水市を除く5市で進めている消防指令センターの運用見直しについても検討を進めては。

A 現在運用している県西部消防指令センターの指令システムと射水市の指令システムの更新時期を勘案しながら、消防指令業務の共同運用の拡大を視野に入れて、検討していきたい。

【財政について】

Q 市税収納率が向上しているとはいえ、平成26年度ですら13億円以上の収入未済がある。収納率向上に向けた市の考えは。

A 滞納の早期把握・早期解消に努め、未納者との折衝に当たっては、電話や納税推進員による訪問などによる催告業務をさらに強化する必要があると考える。

Q 今年度から東京都では、地方創生を支える「税務の達人プロジェクト」と題し、全国から研修職員を受け入れ、全国自治体の税収確保に向けた取組を進めている。この実務体験を先行実施している滞納整理部門の成果として、都で職員を受入れた後、3年間で徴収率が2.5%、約46億円増額した例や、3年間で徴収率が1.2%、約4億円の税収増があった事例が報告されている。

派遣職員の居住費や公務に伴う旅費は東京都側が負担することとなり、については、同プロジェクトへの職員派遣を提案する。

A 本市の規模や納税・滞納実態に合うかどうかなどを詳細に確認する必要があることから、まずはプロジェクトの取組内容について、東京都へ赴き現地ヒアリングなどを実施したい。

平成28年9月定例会

【国際都市戦略について】

Q 政府が訪日外国人旅行者数を2030年には6千万人にする目標を立てたことなどから、今後も訪日外国人等の増加が見込まれるが、これは地方創生に寄与する。

こうした中、現在は観光案内所に日本人しかいない人員体制に検討の余地があり、複数言語が話せる外国人をボランティアとして登録してはと考えている。

なお、現在、高岡市国際交流協会が国際交流ボランティア人材バンク要綱を今年度に整備して進めているが、そのより積極的な活用を提案する。

A 市には近年多くの外国人観光客が訪れるようになっており、外国語による通訳等のニーズの高まりは十分認識している。災害時の外国人ボランティア登録に向け、準備を進めていきたいと考えているが、市の国際交流協会のボランティア人材バンクは外国籍市民の登録を制限するものではないことから、そうした方々の登録や非常時のあり方について今後の検討課題としたい。

【環境について】

Q 観光客そして市民のためにもカラス対策を進めるべきと考えており、個体数の減少に向け、積極的に取組を進めては。

A 関係部局が相互に連携しながら全庁的に取組を進めているが、より効果的な駆除のための捕獲檻に使用する餌や、設置場所の工夫を図るとともに、巢の早期発見と撤去に向けた迅速な対応等によって一層の対策強化を図り、カラス被害の減少に向けた取組を進めていきたい。

【映画デンサンについて】

Q 映画作成のみならず、それを活用して人材育成やまちのPRIに繋げる公益性の高い取組を進め、今後も進展させようとしている映画「デンサン」実行委員会の活動は評価されるべきもの。その活動がより高い成果を得られるよう必要な支援をしては。



映画「デンサン」撮影の様子

A これまで、高岡フィルムコミッションを中心に、市中心部での撮影現場の駐車場確保や観光客役の手配などについて協力しているところであり、今後、様々な機会を捉え、必要な支援を行ってきたい。

【大伴家持生誕1300年記念事業について】

Q 文化創造都市を標榜する本市が現在最も力を入れて取り組んでいる「大伴家持生誕1300年」。本市のみならず、氷見市や富山県でもそれに関する事業を予定されており、連携を図るとは図っていくべきと考える。

A 県や氷見市とは情報交換を重ね、県とは企画展示や巡回展示などの記念事業について協議を進めている。この生誕1300年を機に、家持を顕彰する高岡ならではの特色を活かした万葉のふるさとづくりの新たな展開を図ってきたい。

レポート 地域活動

議員活動は、「議会内」と「議会外」での活動に大きく分けられます。「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」実現のため、議会外でも様々な活動を行っています。ここではその内容についてお知らせします。



H28 4/16
野上浩太郎高岡後援会国政報告会にて参院選に向けガンパロー主催



H28 4/24
「射水神社」横の土俵整備



H28 4/28
新有権者となる高校3年を対象に有権者教育を実施(高岡青年会議所委員長として)



H28 7/21
高岡市教委と連携し、小学5~6年を対象に青少年育成事業を実施。市公式土曜学習に位置づけられた(高岡青年会議所委員長として)



H28 6/5
野上総合選対「遊説局」高岡ブロック街頭遊説。氷見市にて(自民党富山県連遊説局長として野上浩太郎参議院議員と県内を巡回)



H28 9/23
富山県へ要望書提出。同日、高岡市へも提出(都市計画道路北島牧野作道線の早期整備について)



H28 8/13
第89回富山県青年相撲選手権大会土俵設置重機を運転するなど



H28 10/27
高岡市へ要望書提出



H28 11/24
自民党青年部・青年局北信越ブロック会議(富山県連青年部長として)



H28 11/27
自民党高岡市連青年局・部役員中央視察研修(高岡市連青年局長幹事長として)